

新型コロナウイルス感染症患者における嗅覚障害、味覚障害についての検討

2021 年から 2022 年に新型コロナウイルス感染症のために入院加療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「新型コロナウイルス感染症患者における嗅覚障害、味覚障害についての検討」という研究を行います。この研究は、2021 年 7 月 1 日から倫理委員会の承認を得られた日までに日本医科大学千葉北総病院の 2 階東病棟にて、新型コロナウイルス感染症のために入院加療された患者さんを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：新型コロナウイルス感染症患者における嗅覚障害、味覚障害についての検討
研究期間：倫理委員会の承認を得られた日より 2022 年 9 月 30 日
研究責任者：日本医科大学千葉北総病院耳鼻咽喉科 小町 太郎

(2) 研究の意義、目的について

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は 2019 年 12 月から中国武漢市を中心に拡大し、世界中で大流行しています。臨床症状の中で特徴的なものとして、嗅覚障害・味覚障害が挙げられます。感染拡大の要因の一つとされているデルタ株は従来株と比較し、嗅覚障害や味覚障害が特徴的な症状ではないという報告もでてきています。嗅覚、味覚に関するアンケート調査を行い、患者さんの嗅覚障害や味覚障害の発症状況や程度について明らかにします。

(3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2021 年 7 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日に日本医科大学千葉北総病院で新型コロナウイルス感染症と診断され、2 階東病棟へ入院された患者さんのうち、嗅覚、味覚に関する問診票に記載いただいた患者さんの重症度や、従来株かデルタ株かで嗅覚障害や味覚障害の程度が異なるかについて検討を行います。この研究は患者さんの以下の情報を用いて行われます。

試料；なし

情報；年齢、性別、新型コロナウイルス感染症の重症度、デルタ株か従来株か、アンケート情報、など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学千葉北総病院 耳鼻咽喉科 部長 小町 太郎
〒270-1694 千葉県印西市鎌苅 1715
電話番号：0476-99-1111 (代表) 内線：2041
メールアドレス：s6031@nms.ac.jp